

特集 あなたの知らない医学部分館

～分館職員とめぐる誌上館内ツアー～

文京町キャンパスに通学する多くの学生さんにとって、未知の場所。どこにあるのかもよくわからない…今回はそんな医学部分館をご紹介します。これで敷居も低くなって、気軽に利用できるように…なるといいですね！ここで働く分館職員ならではのちょっとした小噺もあります。さあ、一緒に館内ツアーに出かけましょう。

医学部分館は、医学研究科基礎校舎の中にあります。（基礎校舎は、附属病院の脇の道をまっすぐ進んだ突当りの建物です。）図書館として独立した建物にはなっていないので、ちょっと分かりにくいです。基礎校舎の玄関から入って、左側に進んでいくと、右折した廊下に医学部図書館と書かれた札が下がっています。廊下に面した出入口の自動ドアのボタンを押して入ります。外と接していないので、冬でも比較的冷気が吹き込まないのは、ありがたいですね。



出入口から入るとすぐに、カウンターがあります。貸出返却、利用案内、お問い合わせなど、こちらへどうぞ。貸出条件は本館とは多少違います。学部学生と大学院生は5冊まで貸出可で期間は7日間、教員は10冊まで貸出可で14日間です。自動貸出返却装置はないので、すべてカウンターで処理します。

1階には通常の閲覧席のほか、PC用の電源が使える席も8席設けています。新着雑誌もこのフロアに置かれています。



新聞コーナーです。東奥日報、陸奥新報、朝日新聞、読売新聞の4紙を購読しています。ふらっと来ては新聞を読んで去っていく人もいれば、勉強中の息抜きに来る人もいます。ここで長時間勉強されると、そういった方が利用しづらくなるので、勉強は他の閲覧席でお願いします。



1階にある大きな展示ケース中には、レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた「解剖手稿」という資料が展示されています。1982年に岩波書店から350部限定で発行されたもので、本学の所蔵資料にはNo. 177というシリアル番号が付されています。「解剖手稿」の本物はイギリスのウィンザー城王立図書館で所蔵していますが、その複製版で翻刻・解説などが掲載されており、皆さんも気軽に内容を読むことができます。実はこれ、分館職員が2、3日ごとに1ページずつめくっていますが、

ページを見ていると面白いことに気がきます。解剖図だけでなく大聖堂を思わせる建築画や自画像のようなもの、何かの走り書きなどが残されているのです。毎日見ていたら、何か素敵な発見があるかもしれませんね。



1階出入口の真向かいにあるドアを開けると、2階と地下へつながる階段があります。実は、1階の出入口から入り、他のフロアの存在に気づかず、「図書がほとんどない、狭い図書館なんだな」と思うのか、すぐに出て行く方が結構いらっしゃいます。2階の存在をアピールするため、ドアに案内をつけてみましたが、それでも気づかない方は気づかないようです。

2階は図書のフロアになっています。医学部分館の図書のうち、約9割が医学関係です。そのため、2階フロアの図書は医学系とそれ以外という区分で、コーナー分けされています。医学科は全員が同じ授業を履修するため、同じ図書に利用が集中することが多いので、利用が多い図書は何冊も購入しています。このあたりも、本館と違うところです。分館の図書は本館の図書より貸出期間が短いのですが、これも利用が集中するため、あえて短くしています。



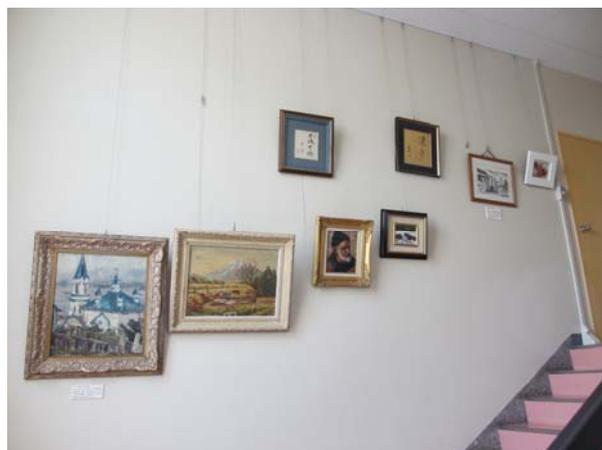
2階には閲覧席も多く配置されています。自修室という、壁で囲まれた閲覧席もあります。授業に使うわけでも、グループ学習するわけでもないのに、なぜ囲まれているのでしょうか。これにも経緯があります。

以前は、この自修室は24時間利用可能なスペースでした。閉館中でも、現在は閉鎖されている廊下側の出入口から出入りして、自習に使うことができました。(その際、図書館側の出入口は施錠されていました。)しかし、建物内に他にも24時間利用可能なスペースができたことから、この部屋は完全に図書館の一部として扱うこととし、廊下側からは出入りできないようになりました。

フロアに隣接した書庫です。書庫は5層に分かれており、1層、3層、5層が、各フロアと連結されています。この5層の図書・雑誌の一部は、以前は保健学科分室にあったものです。保健学科分室が医学部分館と統合し、閉室となった際、移動してきました。2階フロアの図書が医学科用、書庫5層の図書が保健学科用といった区分になっていますが、所属にかかわらず、どちらの図書も同じ条件で借りることができます。書庫の1層～4層は洋雑誌が置かれています。和雑誌は地下フロアと1階フロアに置かれています。



閲覧室の壁や階段の壁には、多くの絵画や版画、色紙などが飾られています。その多くは絵画を嗜んでいる教職員の方々にお願ひし、寄贈してもらったものだそうです。風景画が多いですね。そのうち十数点については、昔の医学部ウォーカーで由来が紹介されています。該当する絵画等については、記事を要約したキャプションをつけています。



ここまで分館について簡単にご紹介してきました。直接来館されて利用することもできますし、本館経由で分館の図書を取寄せて借りることもできます。OPAC検索結果からMyLibraryにログインして申し込むか、またはカウンターにてお申し出ください。分館の雑誌は取寄せできませんが、他の大学図書館に依頼するのと同様に、有料で文献複写の依頼をすることもできます。

なお、文京キャンパスから直接来られるようなバス路線は残念ながらありません。一般の方用の駐車場もないので、もし車で来られる場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。駐輪場はありますよ。

(さいとう かおり)